

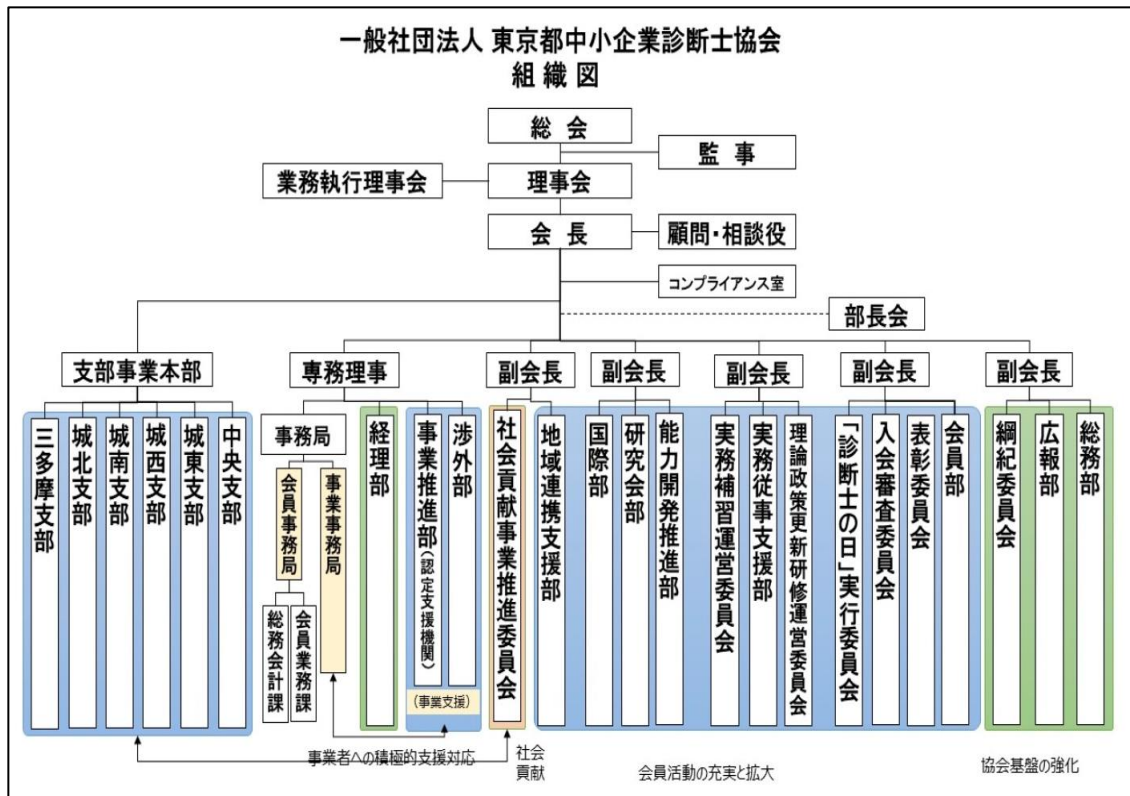
脱炭素経営フォーラム（2023年度）  
バリューチェーン全体での脱炭素化推進モデル事業実施報告  
中小企業診断士による脱炭素化伴走支援

一般社団法人 東京都中小企業診断士協会  
理事・副会長  
大石 正明

2024年3月13日

# 一般社団法人東京都中小企業診断士協会について

当協会は、日本で唯一の国家資格である中小企業診断士(中小企業の経営課題に対応するための診断・助言を行う専門家)を会員とする法人です。主に東京都を活動エリアとしており、約5,000名の会員が所属して、東京都をはじめ官公庁、中小企業支援団体、金融機関、各士業団体と連携し、組織的に活動しています。



## 【主な活動】

経営相談事業

経営診断事業

資格維持・能力開発事業

社会貢献事業

など

# 本事業の背景とゴール

## 葛飾区、墨田区の中小企業4社の脱炭素化を伴走支援

### 背景

#### 中小企業診断士チームの思い

城東エリアは小規模町工場や商店も多く、厳しい経営環境にあるが、SDGs宣言事業者も増えてきた。浸水リスクの高い地域でもあり脱炭素経営への関心はさらに高まる。中小企業の経営力強化に資するため、脱炭素化の啓発と課題解決に関する知見を高めるべく、今回のモデル事業に参画した

### 本事業のゴール

支援先企業の状況に応じて、脱炭素推進に向けた取り組みを支援し、今後も持続的・自発的に取り組みを推進していけるような体制を構築する

### 参加企業

**エビヌマ株式会社**  
海老沼社長

**サンワ印刷紙工株式会社**  
乾社長

**東商ゴム工業株式会社**  
末永社長

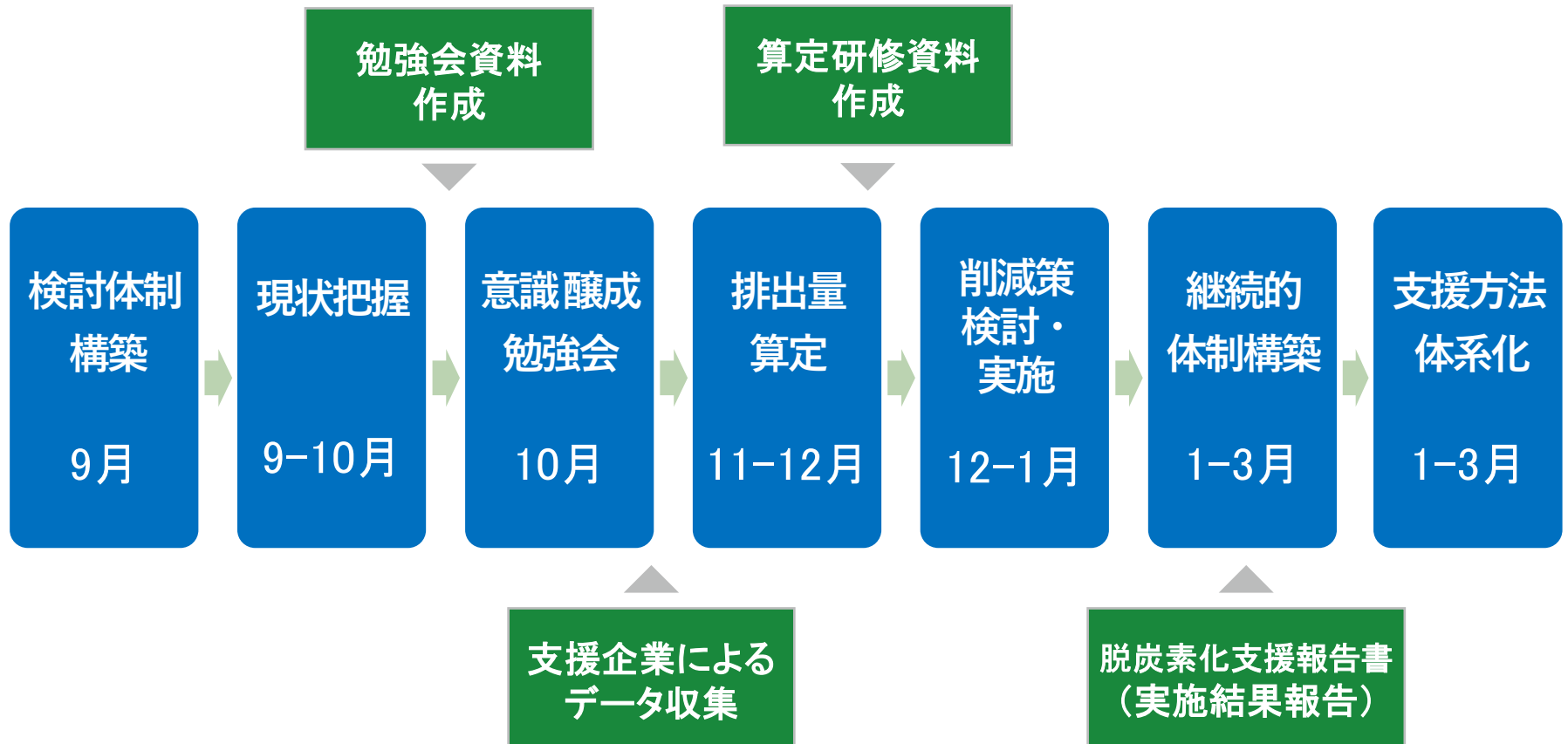
**有限会社 安田製作所**  
安田社長

## 今回の取り組みを元にした、更なる発展目標

### 東京協会または他府県 含む診断士協会として

- ・今回の取り組み実績を踏まえ、東京協会および他府県診断士協会を含めて知見の共有を図り、他の支援機関のモデルとなるような活動につなげていく。
- ・中小企業の経営計画において脱炭素経営を重要ポイントとして取り込むことで、持続可能な強靱な経営をもたらすことに貢献していく。

# 取り組みの全体像



# アウトプット例

## 現状把握/ヒアリングリスト

中小企業診断士協会様ご利用 構成企業ヒアリング事項（空）

以下の項目から構成企業の理解状況を踏まえてヒアリング事項を考慮いただいた（構成企業によって状況に差異があると考えられるため）

黄色セルは優先度が高い項目

番号	カテゴリ	設問内容	ねらい	構成企業状況
1		脱炭素経営に関してどのようなものをイメージされますか	まず構成企業の脱炭素経営についての理解度を大まかに把握したい	
2		脱炭素経営の必要性を語られたと感じたことはありますか	脱炭素経営について課題感を持っているかを把握したい 例：取引先企業から何らかの理由や脱炭素に関する要請は来ているか等 要請が来ている場合は、脱炭素経営に取組むべき明確な理由の一つとなる を把握していきたい	
3		気候変動が会社経営に及ぼす影響をどのように認識していますか	気候上昇や災害の増加などが会社経営に及ぼすリスクを認識しているかを把握したい。 認識がない場合は、気候変動の危険性による様々な影響を伝える	
4		脱炭素化のために国だけでなく、上場企業を中心にGHG排出削減目標を掲げていることを知っていますか	大企業が掲げられている立場を把握しているかを把握したい ①国が掲げている削減目標、2050年カーボンニュートラルの実現、②上場企業が掲げている削減目標、③取引先企業からの要請、④取引先企業からの要請、⑤取引先企業からの要請、⑥取引先企業からの要請、⑦取引先企業からの要請、⑧取引先企業からの要請、⑨取引先企業からの要請、⑩取引先企業からの要請	

## 意識醸成/勉強会資料



## 排出量算定結果

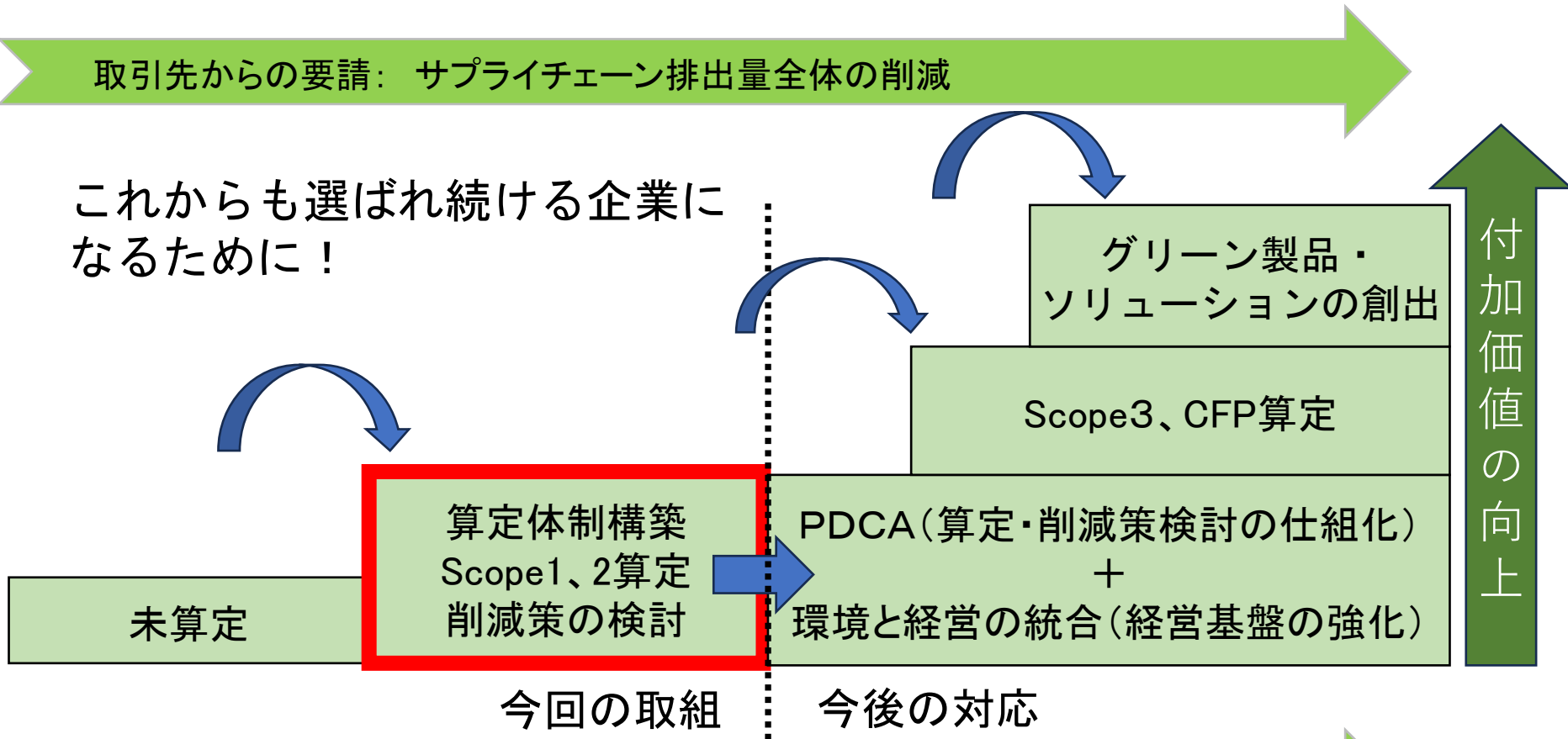


## 実施結果報告/継続的体制構築へ

# 中小企業診断士による伴走支援

取引先からの要請： サプライチェーン排出量全体の削減

これからも選ばれ続ける企業になるために！



厳しい経営環境： 新型コロナ、不透明な国際情勢、原材料・エネルギー価格の高騰等

# 次年度以降の展望

## 横展開を実行するため研究会を設置

今回の事業をさらに発展させていくために、4月に研究会を新たに創設

### <気候変動・生物多様性経営研究会>

目的		2050年に向けてカーボンニュートラルに取り組む中小企業に対し、脱炭素とネイチャーポジティブの両面から支援を行える中小企業診断士を育成することを目的とする
活動内容		<ul style="list-style-type: none"><li>・ 月例の知見共有・意見交換会</li><li>・ 「気候変動プロジェクト」と「生物多様性プロジェクト」の企画・推進</li></ul>
気候PJ	脱炭素経営支援講座	・ 脱炭素経営支援を志す診断士に対し具体的な支援を実施するための能力開発を行う
	エコアクション21の普及	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 規模や環境負荷の大きい製造業等を対象にエコアクション21の認定取得を促す。</li><li>・ エコアクション21の審査・コンサルを行える診断士を育成するための勉強会や情報共有</li></ul>
	脱炭素経営ツール策定	・ 事業者支援で活用する、排出量算定や削減対応状況を共有するツールの検討
	事業者向けセミナー	・ 行政機関や商工会議所と連携し、中小企業向けの意識啓発・支援ニーズ開発のための勉強会やセミナーを実施
生物多様性PJ		・ 先進企業の自然関連財務情報開示の取組や、TNFDやLEAPアプローチ等への理解を深めるための勉強会を実施

# 次年度以降の展望

横展開を実行するため研究会を設置

<今後の横展開について>

2024/4

2025/4

2026/4

2050/4

国、東京都、市区町村などの  
専門家登録を通じた支援

各会員による顧問先や既存  
支援先中小企業等への支援

金融機関、大手企業や市区町村との  
連携による中小企業への支援

研究会ホームページ等により脱炭素化支援を  
必要とする中小企業へのアプローチ

企業活動により排出される  
温室効果ガスの約20%は  
中小企業が排出している。  
2050年に向けて中小企業の  
脱炭素化を支援していく。

城東エリアから東京都、全国に展開